

戸田建設オリジナルのジャポニカ学習帳を製作

表紙は「ドラえもん」、科目は「けんせつ」
子ども向けに建設業の魅力を発信

戸田建設（株）（社長：今井雅則）は、ジャポニカ学習帳を製作するショウワノート（株）（社長：中条宏志）の協力のもと、戸田建設オリジナルの「ほんトダ！学習帳」を製作しました。表紙と裏表紙には、戸田建設オリジナルデザインの「ドラえもん」が描かれており、学習帳の科目は「けんせつ」としました。

カラフルなイラストを用いて、ビルの建て方や土木の仕事を分かりやすく解説するとともに、ノート自体は建築設計製図で多く用いられる5mm方眼を採用しています。

本学習帳は、子ども向けの現場見学会をはじめ、様々な場面で本年1月より配付を開始しています。

■ 『ほんトダ！』プロジェクトで「ドラえもん」とコラボレーション

今回製作した「ほんトダ！学習帳」の表紙および裏表紙には、戸田建設オリジナルデザインの「ドラえもん」が描かれています。

戸田建設は2021年に創業140周年を迎えるにあたり、ドラえもんを起用した『ほんトダ！』プロジェクトを始動させており、モノづくりの魅力を伝えるとともに、未来の建設業界全体を子どもたちが夢を持てる産業にするための活動を進めています。

「ドラえもん」が描かれた本学習帳を用いて、子どもたちに建設業に対する理解と親しみを深めていただきたいと考えています。



表紙



裏表紙

けんちくの仕事 ビルができるまで

みなさんは 街中で ビルの 工事現場を見た ことがありますか？
高いビルは どうやって 作られるのでしょうか？

1 杭



地面の上にそのままビルを立ててしまうと地面で倒れたりビル自身の重さで沈んだりしてしまいます。そこで地中の「支持層」と呼ばれる固い地層まで「杭」を埋め込んでビルを支えます。

2 柱・梁



次は「鉄骨」を使って柱や梁と舟ばれるビルの骨組みを作ります。鉄骨は突き出て高いのでクレーンを使って下から順番に組み立てていきます。

3 床



骨組みができれば床を作っていきます。コンクリートをどろどろと流し込んで平らにします。コンクリートは固まるととても丈夫になります。

4 外壁



床ができれば雨や風を防ぐ外壁の壁(外壁)を作ります。壁をつけたり「カーテンウォール」と呼ばれる大きなガラスで作られた壁を付けていきます。

5 内装

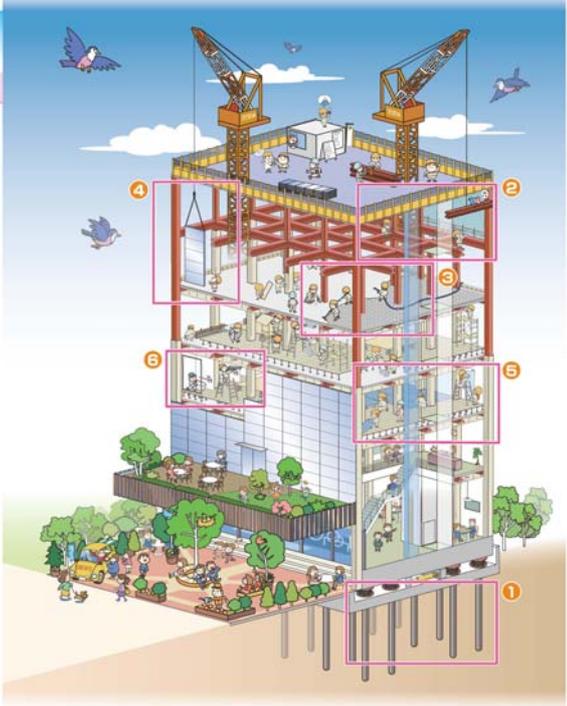


外壁を作ったら部屋の壁を作ります。壁や天井に石膏をはったりペンキをぬったりして部屋の内装をきれいに仕上げます。

6 設備



最後に照明やエアコンなどの設備機器を取り付けていきます。照明の電気がついたり水道から水が出たりエレベーターが動くようになったらビルは完成です！



建設業の仕事内容について、分かりやすく解説（例：けんちくページ）